

事業評価書

補助事業名	消防に関する施設:消防団第四分団車庫改良工事				
補助事業者名	福生市				
実施場所	福生市大字福生1055番地				
補助事業の成果の目標	<p>消防団第四分団車庫は、消防車の車庫、団員詰所、更に備蓄庫も併設している施設である。</p> <p>本施設は、昭和56年度に竣工してから既に33年経過しており、老朽化が著しく、屋上防水、外壁の劣化により、建物内に雨水が浸入し、車庫内に保管している消防防火服や空気呼吸器等の装備品及び備蓄庫に保管している毛布950枚等が湿っている等劣悪な保管状態にある。</p> <p>よって、本施設を改修することにより、装備品や備蓄品の保管状態を良好な状態を維持するよう措置を図る。</p> <p>【参考指標】 26年度の出動件数:211件(うち第四分団86件)</p>				
補助事業の内容	車庫改良工事 RC造2階建 延床面積178.40㎡				
補助事業の始期及び終期	平成26年度から平成27年度まで				
事業費及び交付金額		26年度	27年度	28年度以降 予定	計
	事業費	円 443,880	円 7,020,000	円 —	円 7,463,880
	交付金額	円 350,000	円 4,900,000	円 —	円 5,250,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 工事完了後1年経過するが、車庫内に保管している装備品、及び備蓄倉庫に保管している備蓄品の保管状態が改善され、良好な状態を維持できている。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] 工事期間中、工事完了後ともに、防衛交付金事業である旨の看板を設置した。また、「福生市ホームページ」及び「広報ふっさ」についても、その旨を平成28年3月末までに掲載した。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	教育文化施設:中学校給食用設備整備等				
補助事業者名	福生市長				
実施場所	福生市大字福生1055番地 外				
補助事業の成果の目標	<p>現在、本市内の中学校の昼食においては、生徒に弁当を持参させており、弁当の持参が困難な生徒については、各学校内に設けられているランチルームにて昼食を提供しているところである。また、小学校の昼食においては、市内2箇所にある給食センターで調理した給食を各小学校に配送しているところである。</p> <p>平成26年2月の教育委員会定例会において、平成29年度から全中学校全生徒を対象とした完全給食を実施する旨の決定がなされ、あわせて小学校においても、平成29年9月からは、現在計画中の「防災食育センター」で調理した給食の配送に変更することとなった。</p> <p>そこで、給食を円滑に進めるために、中学校においては新たに給食用昇降設備を整備し、小学校においては新たな配送方式に対応できるような既存の小荷物用昇降設備を改良し、生徒に対して安定的かつ衛生的に給食を提供できる環境を整える。</p> <p>【参考指標】 平成27年度の各中学校生徒数(うち弁当持参者数) 福生第一中学校 : 446名 (337名) 福生第二中学校 : 520名 (372名) 福生第三中学校 : 262名 (163名)</p> <p>【参考指標】 平成27年度の各小学校生徒数(平成27年5月1日現在) 福生第一小学校 : 311名 福生第二小学校 : 430名 福生第三小学校 : 517名 福生第四小学校 : 205名 福生第五小学校 : 266名 福生第六小学校 : 427名 福生第七小学校 : 286名</p>				
補助事業の内容	市内の小中学校において、給食を円滑に進めるために、給食用昇降設備等を整備し、生徒に対して安定的に給食を提供できる環境を整える。				
補助事業の始期及び終期	平成27年度				
事業費及び交付金額		26年度	27年度	28年度以降予定	計
	事業費	円 -	円 47,565,360	円 -	円 47,565,360
	交付金額	円 -	円 42,800,000	円 -	円 42,800,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 福生第二中学校の給食用設備(エレベーター)が完成した。平成29年度完成の「防災食育センター」で調理した給食の供給開始後、生徒に対して安定的かつ衛生的に給食を提供できる環境が図られているか給食配膳員に対し聞き取り調査を学校毎に行う。福生第二中学校配膳員(4名)に聞き取り調査を行った結果、全員から、給食用昇降設備等を整備したことで、生徒に対し安定的かつ衛生的に給食を提供できる環境が整備されたとの回答が得られた。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] 施設の出入口付近に交付金を活用した事業である旨を、施設の出入口付近の掲示板に掲示した。平成27年7月15日号、平成28年4月15日号の教育広報、市ホームページに掲載済み。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	教育、スポーツ及び文化に関する事業:市民会館指定管理委託事業(基金)								
補助事業者名	福生市長								
実施場所	福生市内								
補助事業の成果の目標	<p>本市では、市民の芸術文化や文化創造の拠点として、市民の心豊かな生活と活力ある地域社会の実現に向けて、地域での芸術や文化の振興を図るために福生市民会館を設置している。</p> <p>当施設の運営は、平成20年度までは本市直営によるものであり、当時の運営上、芸術や文化の専門的知識やノウハウに乏しく、時代に即した文化活動への取組ができなかったため、利用者や来館者からサービスの改善を求められていた。</p> <p>そこで、平成21年度から指定管理者制度を導入し、民間事業者の専門的知識やノウハウを生かして、行政では実施することが困難な取組を行い、地域住民が質の高い芸術や文化に触れることができる身近な施設として、引き続き、より一層のサービス水準の向上を図る。</p> <p>【参考指標】 福生市の人口 : 58,613人 (平成28年1月1日現在)</p>								
補助事業の内容	福生市民会館の維持運営								
補助事業の始期及び終期	基金の造成:平成25年度から平成29年度 基金の処分:平成26年度から平成30年度								
事業費及び交付金額	基金造成額 (A)					基金処分額 (B)	基金残額 (A)-(B)	継続事業に要した額	
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益				計
		円	円	円	円	円	円	円	円
	25	80,000,000				80,000,000		80,000,000	
26	207,223,000				207,223,000	78,500,000	208,723,000	84,623,000	
27	60,304,000				60,304,000	77,000,000	192,027,000	84,578,000	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕</p> <p>施設利用者及び来館者に対してサービス水準の満足度についてのアンケートを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設内のスタッフの対応について、「非常に良い」、「まあまあ良い」を合わせて91%。 ・利用申込みの申請・チケットの購入などについて、「非常にスムーズ」、「まあまあスムーズ」を合わせて71%。 ・ホール・集会室などの清掃について、「非常に良い」、「まあまあ良い」を合わせて90%。 ・館内の案内表示の見やすさについて、「非常に良い」、「まあまあ良い」を合わせて76%。 <p>全般として「非常に悪い」という回答は全くなく、また「やや悪い」との回答もわずかであり、利用者のサービス水準についての満足度は高いレベルである。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕</p> <p>本事業について防衛省の助成金を活用して実施している旨を、市民会館館報、市及び市民会館ホームページ、市民会館パンフレットに掲載。</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								

事業評価書

継続事業名	教育文化施設:古民家保存事業(基金)						
補助事業者名	福生市長						
事業主体	福生市						
実施場所	福生市内						
継続事業の目的	<p>本市では、祖先の遺した貴重な文化遺産を現代に生かし、さらに未来に伝えることを目的に文化財保護行政を行っているが、市としてかつての福生の生活様式を伝える古民家を有しておらず、従来より古民家を活用した事業を行う必要性を感じていた。</p> <p>平成25年度に相続の関係から市内の古民家を購入する目処が立ったことから、古民家保存事業(基金)により、市として古民家を購入し、従来からの課題であった市内の生活様式を伝えるための事業に着手し、古民家を活用するため、古民家の老朽化した部分や付帯設備の整備を行う。</p>						
継続事業の内容	古民家にかかる用地買収、改修及び周辺整備						
継続時事業の始期及び終期	基金の造成:平成25年度 基金の処分:平成26年度から平成27年度						
継続事業に要した経費の総額及び交付金充当額	継続事業に要した経費の総額				交付金充当額		
	273,317,236 円				230,000,000 円		
基金の造成及び処分	基金造成額 (A)					基金処分数額 (B)	基金残額 (A)-(B)
	交付金	市町村費等	その他	運用益	計		
	円	円	円	円	円	円	円
	230,000,000				230,000,000	230,000,000	0
継続事業の成果及び評価	古民家の整備が完了し、一般公開を開始した。これにより、従来からの課題であった市内の生活様式を伝えるための事業に活用できていると判断する。						
継続事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

継続事業名	教育、スポーツ及び文化に関する事業:古民家等の維持・管理事業(基金)						
補助事業者名	福生市長						
事業主体	福生市						
実施場所	福生市内						
継続事業の目的	本市では、祖先の遺した貴重な文化遺産を現代に生かし、さらに未来に伝えることを目的に文化財保護行政を行っているが、市としてかつての福生の生活様式を伝える古民家を有しておらず、従来より古民家を活用した事業を行う必要性を感じていた。平成25年度に相続の関係から市内の古民家を購入する目処が立ったことから、古民家保存事業(基金)により、市として古民家を購入し、従来からの課題であった市内の生活様式を伝えるための事業に着手し、古民家を活用するとともに、後世に適切な形で残していくために必要となる維持管理を行っていく。						
継続事業の内容	古民家等の維持・管理 (修繕、清掃、庭木管理、機械警備、光熱水費等)						
継続時事業の始期及び終期	基金の造成:平成25年度 基金の処分:平成26年度から平成34年度						
継続事業に要した経費の総額及び交付金充当額	継続事業に要した経費の総額				交付金充当額		
	3,883,179円				3,000,000円		
基金の造成及び処分	基金造成額(A)					基金処分数額(B)	基金残額(A)-(B)
	交付金	市町村費等	その他	運用益	計		
	円	円	円	円	円	円	円
	39,006,000				39,006,000	4,500,000	34,506,000
継続事業の成果及び評価	平成27年度は、平成28年5月28日の一般公開に向けて準備を行った。防犯、防火対策としての機械警備や、最低限必要な庭木の管理を行うことで、良好な状態で古民家を維持管理した。						
継続事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						